

備前市事務事業評価シート

(平成21年度事業)

事業の概要			
事業開始年度		S 6 2 ~	
総合計画	大項目	基本目標	01 安全で快適に暮らせるまちづくり
	中項目	基本施策	10 生活しやすいまちづくり
	小項目	施策	10 下水道
事務事業名		05 公共下水道施設管理事業	
根拠法令・例規等		下水道法、水質汚濁防止法	
問 担当課(室)		下水道課	
合 職・氏名		主幹 文徳啓次	
先 電 話		6 3 - 2 3 3 0	
このシート作成に要した時間		6.0 時間	

事業の目的	
対 象 (誰・何に対して)	下水道使用者及び不特定多数
目 的 (何のために)	公共用水域の保全のために、流入下水を浄化し放流する。
事業の意図する成果 (どのような状態にしたいのか)	処理場施設の適正な維持管理に努め下水を処理することにより、公共用水域の水質保全および生活環境の改善を図る。

事業の実績			
細事業名	事業の説明	優先度	
目的を達成するために実施した事業	浄化センター外管理事業	汚水処理を目的に設置した4箇所の浄化センターの運転管理、水質分析、データ管理	◎
		汚水送水を目的に設置した4箇所の中継ポンプ場の運転管理	○
		雨水排水を目的に設置した2箇所の雨水ポンプ場の運転管理	◎
		汚水送水を目的に設置したマンホールポンプの運転管理	○
		事業場から排水される汚水の水質調査及び指導	△
管渠施設管理事業	汚水送水を目的に埋設している管渠の維持管理	○	

事業の目的、対象、内容を考えてから妥当性の評価を行って下さい

事業費や単位当たりコストは留意しながら効率性の評価を行って下さい

事業費等		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
決算額	直接事業費		329,132	399,674	367,023
	必要人員人件費	千円	3.62人 31,312	4.05人 34,928	3.43人 30,951
	事業費計		360,444	434,602	397,974
	国県支出金				
	受益者負担				
財源	千円				
繰入金債					
その他( )					
一般財源		360,444	434,602	397,974	
受益者負担比率	%	-	-	-	
結果指標名		単位	平成19年度実績	平成20年度実績	平成21年度実績
結果指標	処理水量	説明	汚水を浄化し公共用水域へ放流した水量		
	結果指標量	事業	3,751,867	3,608,812	3,438,113
	対前年比	%	-	96.2%	95.3%
	活動コスト	円	360,443,878	434,601,754	397,973,842
単位当たりコスト		96	120	116	

事業の成果					
成果指標名	年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度目標値
COD値	目標値(A)	15.0	15.0	15.0	15.0
	実績値(B)	9.3	9.0	8.2	到達目標値
	達成率(B/A)	62.00%	60.00%	54.67%	15mg/ℓ
成果指標設定の考え方・式や説明					

化学的酸素要求量。水中の有機物を酸化剤(薬品)によって酸化するのに消費される酸素量。大きいほど汚れが基だしいことを示す。

事務事業の評価		妥当性評価 <A~E>
妥当性の評価	市の関与の妥当性	B
	市民ニーズ	
効率性の評価	コスト	C
	目的達成度	
有効性の評価	市民参画度	C

留意事項の目的やその数値目標を達成するための結果指標

進行年度(H22年度)の改革改善内容						
状況	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
状況		○				
説明	維持管理業務は継続して実施していくが、一部老朽化が進んでいる施設が存在するため、修繕対応等により機能を維持する。					

総合評価		評価区分 <A~E>
処理コストを抑えるよう努力しつつ、処理場機能を最大限に発揮できるよう運転管理を行う。		C

平成23年度の方向性及び取組目標						
方向性	拡充	現状継続	見直し	縮小	整理統合	休止・完了
方向性		○				
取組目標	老朽化の進んでいる設備の効率的な整備や保守点検について、必要性等を検討し整備計画を策定し実施していく。					